

甲斐たかゆきの市議会だより「えがお」号外・2021年8月発行



みなさん、こんにちは。ご無沙汰しています。暑さ厳しい毎日となっていきますので、マスクや手洗いなどの感染症対策に加え、こまめな水分補給などを心がけ、熱中症や夏バテにも十分にお気をつけください。

東京など大都市圏での感染拡大が連日報道されています。オリンピック開催なども関連して、全国的な人の移動増加に伴い、地方都市においての感染者の増加が不安視されていましたが、すでに現実のものとなってきています。県内でも感染者の増加が報告されています。日々の感染者数の報道に対しては、不安を感じている方も多いのではないのでしょうか。すでに全国でデルタ株の感染報告が増加しているため、引き続き

きの警戒と対策が必要です。「希望される方への早期のワクチン接種」だけではなく、新たな対策が急務です。これまでも訴えてきましたが、「誰でも希望すれば受けられるPCR検査体制の確立」がぜひとも必要です。国の動向を待っていただけられません。大分県独自の取り組み等を望みます。なお、大分市には独自の「抗原検査センター」が大分駅北口広場に設置されていますので、こちらをどうぞご利用下さい。どなたでも短時間で検査を受けることができます(お買い物などのレシートを提示すれば接種可能です)。

報道されているように、今後は国からのワクチン供給ペースが減少しますので、大分市においても、これまでの使用量の半分程度しか供給が見込めない状況となっています。そこで大分市に確認したところ、現在接種を進めている高齢者、基礎疾患のある方、高校3年生等およびこれから接種を開始する60歳以上64歳以下の方の分は確保できているとのことでした。今後はワクチンの供給量に応じて、上記以外の方への接種開始時期を調整するとのことでした(以上の情報等は、7/31時点までのものです)。

先の見通せない「コロナ禍」ではありますが、少しでも安心安全な生活をおくれるように、みなさまの笑顔につながる活動を継続していきます。今後ともみなさまの声をお聞かせください。ワクチン接種等に関しても、ご意見ご要望をお寄せください。

【甲斐の思い】接種を促進することの大切さはわかりますが、痛みや発熱といった副反応への不安があるのも事実です。重いアレルギー反応のアナフィラキシーも心配されていますので、これらの不安に寄り添い、必要な情報の公開と丁寧な対応を要望しています。また6月議会の段階で、16才以上となっていた接種の対象を決して引き下げることのないように意見要望していましたが、その後、国の方針として、対象年齢が12歳以上となりました。しかしながら、学校での集団接種ではなく、保護者同伴での個別接種が大前提であり、もちろん希望する方だけの接種にとどめるように改めて意見しています。

甲斐たかゆき・連絡先 090-4991-6412 (判田台南在住)

【中判田駅周辺整備について】 「ワクチン接種」とともに6月議会で質問した内容

〔甲斐の思い〕 **さまざまな整備が連動してこそ有効に機能すると思います。**

- ①国道10号の判田郵便局交差点から駅方面への進入路の拡幅。
- ②中判田駅前の再整備としての駅前のロータリー化。
- ③中判田駅隣接の広い駐車場を活用した「パークアンドライド」の拠点駅に。
- ④駅舎の老朽化。改築や移転なども含めて、更なる駅のバリアフリー化。
- ⑤大南地区スポーツ施設への判田校区側からのアクセス道路の新設(防災上も必要)。
- ⑥大分南校生が登下校で利用している河川沿いの堤防道路や踏切の安全対策。
- ⑦国道10号高江拡幅工事中に生活道路の渋滞が懸念される。代替道路の確保を。

上記のようなことも含めて、議論していくことが必要だと感じています。そこで、現在進行中の地元の方々と大分市の関係部局が参加しての「勉強会」が、今後とも継続していくことを願い質問に取り上げ、「引き続き勉強会を継続」という答弁を引き出せたことは、大きな成果でした。この「勉強会」などでの活発な論議を後方支援していきます。

☆高江大橋での歩道への防護柵設置の状況について！

昨年も「えがお号外」で紹介しました「未就学児等交通安全対策事業」として、本年度は、画像のように反対車線側にも防護柵の設置が行われました。画像左奥にある防護柵のように高江大橋上の歩道長さ分すべてに設置されました(7月上旬に完成)。同様な安全対策がそれぞれの場所の周辺環境や要望内容に応じて、2023年度末までに大分市内であと14箇所対策が計画されています。これからも安心・安全の向上のために事業の進捗を見守ります。声をお寄せください。



☆本年度実施される「中判田駅構内スロープ整備」に関連して・・・

「えがお17号」でお知らせしましたが、中判田駅と坂ノ市駅の構内に踏切やスロープを新設し、ホームへの移動をスムーズに行えるように整備することとなっています。つまり既存の階段を使用しなくても移動が可能になるのです。このスロープ工事に伴い、撤去されるホームにある上屋(屋根)の再設置を要望しています。

☆子どもたちに豊かな教育を保障するために・・・大分市長に要請！



5月17日(月)、大分市長に対して「義務教育費国庫負担率2分の1復元・制度拡充」を要請する活動に同行しました。「コロナ禍」での教育現場の実態と少人数学級の早期実施などの教育課題を認識してもらうとともに、子どもたちに豊かな教育を保障していくための予算確保も含め、要請しました。今後も教育現場で働くすべての教職員と子どもたちの「笑顔」につながることに取り組んでいきます。

これからも「**子どもたちをまんやかに**」。今後ともみなさんのご理解・ご協力をよろしく
お願いいたします。

甲斐たかゆき・連絡先 090-4991-6412